

EXTを知るためのキーワード

シェルサイドが“への字”にくびれたZ-8の独特のデザイン。SRL-EXTはこのくびれの部分に取り付けられるように、専用のベースプレートを採用。そこにメインモジュールを貼り付けるような形で装着する。

また、Z-8専用設計としたことで、マイクやスピーカーのケーブルが必要最低限の長さになっている。そのためSRL-EXTを取り付けた状態でも、ヘルメットの内側もスッキリしている。

装着性

その 2

右側にはバッテリーモジュール
インターCOMの本体とバッテリーを分離し、帽体の左右に取り付けられるスタイルとしたことで、重量や空力面でバランスを追求している



曲線にピッタリ

Z-8の帽体の有機的な曲面にぴったり沿うようにSRL-EXTは設計されている。その結果、まるでヘルメットの一部であるかのようなフォルムを実現している



その 1

調和性

デザイン的にZ-8のコンパクトさという最大の特徴を活かすべく設計されたSRL-EXT。ヘルメットの帽体からなるべく出っ張らないように、メインモジュールとバッテリーパックを分離して、ヘルメットの左右に取り付けるといった独特のスタイルを採用。それぞれのユニットはZ-8の複雑な曲面にピッタリ沿うように取り付けることができ、単にコンパクトな佇まいだけでなく風切り音を抑えるといった効果を発揮。



コードに無駄が一切なし

ケーブルすべての長さがZ-8に合わせて設計されていて、長さの余ったケーブルを内装の裏に隠すといった必要がない



装着場所は決められた位置に
メインモジュールやバッテリーパックの装着位置が指定されており、そこに差し込んだベースプレートに貼り付けるように取り付け



SENA・メッシュ通話
メンバー間を網の目のように接続するメッシュ通話。ネットワークによって通話が途切れにくいだけでなく、素早い接続を実現している



ハーマンカードン社による
高音質イコライザー & マイク
高級オーディオ「ハーマン・カードン」の手によるマイクとスピーカーを採用。さらに専用のサウンドチューニングが施されている

3年保証

安心の3年保証
クアンタム・シリーズの保証期間は3年。プレミアムなインターCOMとして、セナの他のモデルに比べて長いのがメリットだ

その 3

クアンタムシリーズ

セナ・インターCOMの最高峰モデルだけに与えられているのが「クアンタム」というブランド。「メッシュ2.0」という独自のグループ通話機能を搭載するほか、マイクやスピーカー、そしてサウンドチューニングに、高級オーディオブランド「ハーマン・カードン」の技術を採用するなど、フラッグシップに相応しい機能と性能が与えられている。



SRL-EXT

価格：4万4440円

サイズ：108×44×20mm (メインユニット)
通話距離：約2.0km (Bluetooth)
約2.0km (Mesh)



クアンタムシリーズに SHOEI・Z-8 専用モデル登場!

タイトでスポーティな佇まいに惹かれて、歴代モデルをかぶり続けるファンも多いSHOEIのスポーツ・フルフェイスヘルメットZシリーズの最新モデル「Z-8」ただし、その独特なスタイルからインターCOMの取り付けはちょっと難しいそんなZ-8ユーザーのために、セナからZ-8専用インターCOM「SRL-EXT」が登場する

写真 / 荒木優一郎 文 / 八百山ゆーすけ
問：セナプラントウズジャパン <https://senablueooth.jp>

SHOEI・Z-8とは?

SHOEIのフルフェイスヘルメットの中でも“コンパクト&軽量”をコンセプトにしたのが歴代のZシリーズだ。タイトなサイズの帽体により、コンパクトさを強調。さらに、くびれあがったシェルサイドのカットラインにより、タイトながらもかぶりやすさを実現している。この独特のデザインから一般的なインターCOMでは取り付けが難しいとされていた

いままで選択肢が限られたZ-8ユーザーのために、スポーツツーリング用ヘルメットとして人気の高いSHOEIのZ-8。帽体のサイズを4種類用意して、ライダーの頭のサイズにタイトにフィットさせることで実現した、スリムでスポーティな佇まいが人気を博している。

特にシェルサイドの左右を「への字」にくびれ上がらせたカットラインはZ-8のアイコンとも言えるデザインだ。ただしこのくびれが、一般的なインターCOMの取り付けを難しくしていて、多くのユーザーを悩ませているところ。そこでセナは、フラッグシップ・インターCOMである「クアンタム」シリーズの一台として、Z-8専用設計モデル「SRL-EXT」を新たに開発した。

コンパクトかつ軽量というZ-8のコンセプトをスポイルしないように、SRL-EXTはヘルメットに取り付けた際に帽体からの「出っ張り」感を抑えたのが最大の特徴だ。操作ボタンを含めたインターCOM本体からバッテリーを分離して、帽体の右側に取り付けるといったスタイルを採用。これによりインターCOMの存在感を抑え、コンパクトなZ-8の佇まいを崩すことがない。

そのためにSRL-EXTは、Z-8の帽体の曲面に合わせた形状としたことに加えて、くびれ部分に装着できるように専用のベースプレートを採用している。また、Z-8専用としてケーブルは各パーツを結ぶ最短の長さになっていて、余分なケーブルを内装の裏に隠したりする必要もない。

もちろんSRL-EXTは、クアンタムシリーズのひとつとして、最高峰インターCOMにふさわしいスペックを備えている。通話システムは同時通話人数制限のない「メッシュ2.0」で、スムーズな接続と途切れることが少ないグループ通話を楽しめる。また、マイクとスピーカーには、世界的に知られる米ハーマン・カードンの技術で設計されているほか、専用のサウンドチューニングが施されている。

これまで、インターCOM選びや取り付けには頭を悩ませてきたZ-8ユーザー。SRL-EXTはZ-8専用設計インターCOMとして、そんなライダーのお悩みを解決してくれるだけでなく、いままではなかなか自由に選べなかった、メッシュ通話やハイファイサウンドといった、プレミアムな機能や性能を楽しむことができる。